

みさき

55号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2019年2月10日発行



主な内容

特集 町民が注目する青野町長所信表明
ここが聞きたい議会からの質疑 ②~③

こんなことが決まりました ④~⑤

委員会の活動 ⑥~⑨

8議員が町政を問う ⑫~⑮

大きく育て美咲の子ども 華麗な姿の大人の自覚

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

表紙関連記事19ページ

特集

町民が注目する青野町長所信表明 ここが聞きたい議会からの質疑

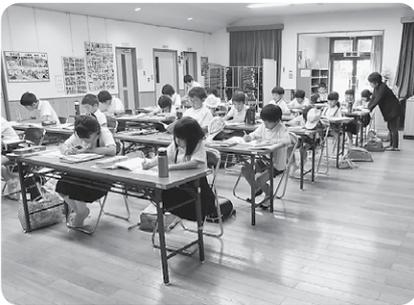


町の最重要課題は人口減少克服

2045年には美咲町の人口は8,000人を割り込むと予測されており、少子・高齢化、過疎化、人口減少を克服するための取り組みを進めていきます。

21世紀型の寺子屋で質の高い教育

次代を担う子ども達に未来を切り開いていく力を付けさせるため、教育関係者の英知を結集して21世紀型の寺子屋づくりを目指します。



小規模多機能自治による組織づくり

地域の課題を自ら克服していくために、現在の自治会で組織されている協働のまちづくり協議会を充実強化した小規模多機能自治による組織作りを進めます。



現在の政策は推進するのか

延原正憲 議員



問 柵原地域の義務教育学校、美作岡山道路、災害対策についてはこれまでの方針に沿った対応を推進する考えはあるのか。

答 老朽化した柵原中学校の建て替えは喫緊の課題として捉え早期着手を目指します。美作岡山道路、内水対策、滝谷池復旧についても住民皆様の理解を求め全力で取り組んでいきます。

小規模多機能自治の具体策は

松島 啓 議員



問 協働のまちづくりをさらに強化した小規模多機能自治による組織づくりとは、具体的にどのようなものなのか。

答 複数の自治会が協力し合い小規模だがさまざまな機能を持った自治会を目指すもので、組織の枠を超えた経営管理の仕組みをつくり、その助けとなる集落支援員を順次配置していきます。

亀甲エリア一体のランドデザイン

老朽化した役場本庁舎、亀甲商店街、中央運動公園といった町の中心地域一体をエリアとしたランドデザインを描き、議論を進め可及的速やかに取り組みます。



課題解決に向けた役場庁内改革

職員が町民の幸せのために自ら学び行動する役場づくりのため庁内の機構改革を行い、ICTを活用した業務の効率化を進め役場内の活性化を図ります。



老朽化した公共施設の総合管理

遊休化、老朽化の著しい公共施設については除却、集約複合化、機能性向上、長寿命化などによってコストダウンを図りつつ効率的な再配置を目指します。



耐震不足の旭総合支所の建て替え

耐震強度が不足している旭総合支所については、地域の拠点となるように可能な限り複合化した上で現地において建て替えを行います。



老朽化が著しい柵原中学校の建て替え

老朽化した柵原中学校については、義務教育学校の検討、小・中一貫校のあり方などを研究の上で早期に適地を選定し建て替えに着手します。



副町長の2人制が必要では

山本宏治 議員



問 役場の庁内改革を進めるためには機構改革に加えて副町長2人制も検討する必要があるのではないか。

答 課題解決に向けて県職員の派遣を検討したいと考えております。副町長2人制については組織の肥大化を招きかねないなどの整理が必要であると認識しているところです。

振興計画に反映させるべき

松田英二 議員



問 所信表明した項目を具体的な政策として実現させるためには町勢振興計画の中に反映させた新たな計画策定が必要だ。

答 第2次振興計画へは基本理念・重点施策において反映させるが、個別施策については振興計画審議会の意見なども踏まえて出来るだけ早期に今後の方針を決定したいと考えています。

21世紀型寺子屋構想とは

松島幸一 議員



問 21世紀を生き抜く人材の育成を目指した21世紀型寺子屋構想について具体策や進め方についての考えは。

答 退職した教職員やスポーツ・生涯学習などに精通した地域の人などに協力を求め、放課後を利用した学びの場を充実させて基礎学力の向上を図ると共に知・徳・体を備えた子どもたちを育てていきます。

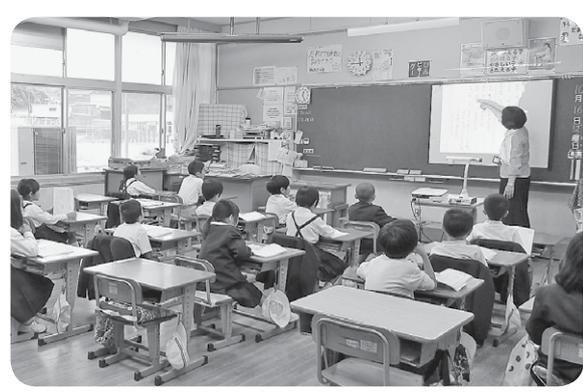
いよいよ本格復旧へ

一般会計補正予算など33議案が議決されました。

町内標準学力調査を実施

町内の各小・中学校において、3学期に標準学力調査を実施する。

〔教育振興費・学校管理費 39万円〕



中央町史(地区誌編)に映像資料を追加

編集集中の中央町史・地区誌編に映像資料を加えて印刷・製本を行う。

〔町史編纂事業委託料 322万円〕



請願・陳情

美作岡山道路の建設計画で、岡山県が想定していなかった内水が発生したことによる住民の不安に対して、岡山県が現在および将来にわたる住民の生命と財産の不安を取り除く対応をすることを岡山県に願う請願

請願者 山田 芳裕
紹介議員 山田 雄二

美作岡山道路の開通に併せ、性能が高い排水ポンプの設置を要望することが地域の安全施策につながるとの結論から、賛成少数で不採択とした。

滝谷池の仮補修を早急に行う請願

請願者 尾崎 宏子
紹介議員 山田 雄二

地元自治会の臨時総会で早期の全面改修が望ましいとの決議がされていることなどを踏まえ、賛成少数で不採択とした。

県道349号線吉ヶ原地区拡幅に関する請願

吉ヶ原自治会長 妹尾 知興
紹介議員 松田 英二
松島 幸一

大型車両の通行も多く、安全性も心配されており、全会一致で採択とするが、道路改良などの請願での扱いは今後十分な審議が必要であると意見を付す。

請願・陳情

「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願
津山民主商工会婦人部 部長 松島 節子
紹介議員 藤井 智江
現在、町内で第56条の取り扱いがないことや、多くの事業者が第57条の青色申告制度で申告していることなどを確認し、賛成少数で不採択とした。

条例

美咲町青木正美・静恵ふるさと応援基金条例

本町出身者である、故青木正美氏の遺志に基づき、青木静恵氏から寄附を受けた寄附財産とその他の収入により、ひとが集う魅力あるまちづくりと将来を担う人材の育成を図るため基金を創設する。

美咲町国民健康保険診療所条例の全部を改正する条例

国民健康保険大坪和診療所を閉院・廃止するとともに、3月31日をもって閉院する西川診療所を、美咲町西川診療所として設置する。

12月議会 でこんなことが 決まりました

平成30年7月豪雨災害

12月14日～27日まで定例議会が招集され

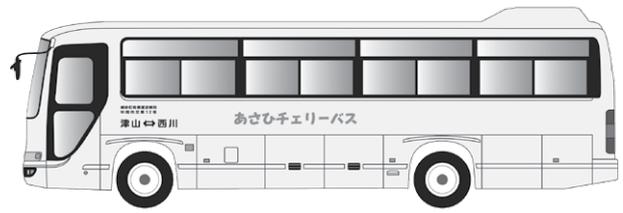
みさきネット光ファイバー断線の復旧工事

7月豪雨災害により断線した、みさきネット光ファイバーケーブルの本復旧工事を行う。
〔みさきネット施設災害復旧費 1,746万円〕



津山・西川線共同バスの車両を導入

津山・西川線共同バス（あさひチェリーバス）が老朽化したため、車両を新たに導入する。
〔津山・西川線共同バス車両購入事業 1,539万円〕



※イメージ図

○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		貝阿彌議員	松島啓議員	山本議員	岩野議員	江原議員	金谷議員	松田議員	林田議員	左居議員	延原議員	形井議員	松島幸議員	藤井議員	山田議員
請願第4号	美作岡山道路の建設計画で、岡山県が想定していなかった内水が発生したことによる住民の不安に対して、岡山県が現在および将来にわたる住民の生命と財産の不安を取り除く対応をすることを岡山県に願う請願	議長	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○
請願第5号	滝谷池の仮補修を早急に行う請願	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○
請願第7号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×

意見の分かれた議案



表彰

貝阿彌幸善議長に、美咲町功労表彰が贈呈されました。(議会議員在職20年以上)

議長
貝阿彌幸善



人事

美咲町倭文西財産区管理委員の選任が提案され、全会一致で同意した。

美咲町北
森岡 洋省

議員発議

美咲町議会定例会規則の一部を改正する規則

「本町議会の定例会は、毎年3月、6月、9月及び12月にこれを招集するものとする」を「(略)招集することを基本とする」に改める。

美咲町議会傍聴規則の一部を改正する規則

美咲町議会傍聴規則中の「受付簿」を「受付票」に改める。

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課、徴収対策室、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／山田雄二、松島幸一、松田英二、岩野正則、松島 啓の7人で審議しています。

【総務課】

ふるさと納税特産品贈呈事業

問 本年度のふるさと納税の状況は。

答 現時点で受入額は2,180万円で昨年度より増加している。それに伴い委託業者を増やしたため、317万円増額した。

【柵原総合支所】

柵原総合支所の緊急防災事業

問 緊急防災事業とは、どのような事業か。

答 柵原文化センター大ホールの天井部分を全面改修し、照明もLED化・軽量化する。工事期間は5カ月程度かかり今年10月頃の完成予定である。

【情報交通課】

先進安全自動車補助金増額

問 先進安全自動車の補助金を増額した理由は。

答 衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全装置が付いた自動車を購入した場合に補助金を交付するもので、追加の申請が見込まれている。



建設中の柵原出張所(吉ヶ原地内)

吉ヶ原地区に建設中の新しい津山圏域消防組合中央消防署柵原出張所を現地視察した。当日は、消防本部の池上消防長から説明があり、今春から運用開始する。

【徴収対策室】

本年度の業務状況、成果と課題

問 徴収対策室の本年度の業務状況は。

答 昨年12月現在と現年を合わせると2,500万円の回収ができた。納付窓口の一本化が大きな要因だと思われるが、更なる体制強化が必要である。

【建設課】

昨年7月の災害復旧

問 災害復旧の全体像を示せ。

答 公共土木施設、農地・農業用施設災害が査定件数226件、事業費9億1,500万円程度を見込んでいる。林地災害は査定件数3件、補助決定額2,400万円である。

【産業観光課】

地場産業振興施設整備事業

問 地場産業振興施設整備事業で何をするのか。

答 事業実施主体はJA津山で、ショウガ用洗浄機や包装機導入に伴う市町の助成金。本町のショウガの生産量が県北で一番になっている。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、保険年金課、健康推進課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／金谷高子 副委員長／形井 圓 委員／藤井智江、左居喜次、林田 実、江原耕司、貝阿彌幸善の7人で審議しています。

【福祉事務所】 生活管理指導員派遣事業

問 生活管理指導員派遣事業とは何か。

答 生活指導が必要な人に対し、金銭管理、身の回りの生活などについて指導管理者を派遣する事業で、社会福祉協議会に委託している。

【保険年金課】 生活支援体制整備事業

問 通いの場、コロバン体操だけでなく、効果が見えるように専門職が必要ではないか。

答 そういう要望が多く、成果が少しでも見えるようにするため6万5,000円の計測器を購入し、皆の励みにしたい。

【健康推進課】 妊婦乳児健康診査費

問 里帰り出産の妊婦健診に補助はあるか。

答 岡山県内の妊婦健診については、母子手帳の無料券を利用。県外へ里帰りをして出産の場合は償還払いで対応している。



柵原中学校通学路(下谷地内)

7月の豪雨による通学路の崩落のため、柵原中学校の生徒がバス通学を行っていたが、教育委員会から「11月から自転車通学に戻したい。」との連絡を受けた保護者から不安の声が上がり、急きょ現地視察を行った。

関係職員立ち会いの下、自転車通学の安全を図るため、美咲警察署の協力を得るなど最大限の安全対策を申し入れた。

【住民課】 町営住宅維持補修費

問 退去されるときの修繕料は適切に徴収されているのか。

答 退去時、職員2名が立ち会い、入居者が負担すべきものか、経年劣化によるものかを、入居者と共に確認し、入居者了解のもとで処理している。

【教育総務課】 柵原中学校の通学路

問 柵原中学校の自転車通学の子どもたちへの危険は取り除かれているか。

答 11月から自転車通学を再開した。今後も点検を重ね、子どもたちの安全を守っていく。

【生涯学習課】 町史編纂事業費

問 中央町史について当初の予定と現在の進捗についてどうなっているのか。

答 当初の予定からは遅れている。昨年民俗編を発行し、地区誌編を今年度中に発行できるように取り組んでいる。

委員会 の活動

視察調査報告 ▶ オール富士宮で認知症ケア・富士宮市



富士山の誇りとともに行政の取り組みがなされています

静岡県富士宮市は、ご当地グルメの「富士宮やきそば」で知られ、人口13万3,290人で、そのうち高齢者が3万7,329人を占め、高齢化率が28%である。

先進的な認知症に関する地域包括ケアシステムを構築している同市を視察し、担当者から生の声を伺った。

【視察の目的】

●富士宮市では、地域

で楽しく一人ひとりが役割を持ち、自助・互助・共助・公助の分担をすることで「オール富士宮」による地域包括ケアを目指している。

同市では、住民が認知症について知りたいと思った時、概要をわかりやすくまとめた「ケアパス」や、こどもサポーターの養成に力を入れている。

本町でも認知症への取り組みは今後ますます重要な懸案事項

となるため、今回視察地として選定した。

【オール富士宮】

●富士宮市では、民・産・学・官それぞれの分野で、自発的に自助の力を育んでいる。

具体的な取り組みとして、「民」は、市内120カ所の寄り合い処で自由に集う場をつくっている。

「産」は、協力事業所の従業員に認知症サポーター養成講座の受講をすすめる、地域の異変を連絡している。

「学」は、各年代に合った方法で認知症について理解を深めている。小学生向けには寸劇やアニメで、中学生はご本人や家族のお話を聞き、高校生は毎年夏休みにロールプレイで模擬体験をしている。

「官」は、市役所の新採用研修や市議会



富士宮市役所会議室

議員研修会を開催して理解を深めている。

また、警察と連絡を取り、行方不明者の捜索時に連携ができる体制を構築している。

ことで家族や事業所などが繋がるといふことを伺った。

同市では包括の業務を市役所の直営で行っているため、組織との連携がとてよくできていると感じた。

【参加者の感想】

●都市部で地域福祉の推進をすることは何かと苦労が多いと思うが、その活動の中で、人と人とを繋げることが一番大切なことであり、どんな地域においても、個々を大切にす

●今後の課題として、本町でも教育委員会の協力を得ながら子どもへの認知症学習を教育課程に組み込み、子どもサポーターの養成に取り組みべきである。

美咲町議会議員との意見交換会

◆美咲町在宅医療・介護連携推進協議会

平成30年11月5日(月) 13:30～15:00 本庁3階大会議室

2025年に向け高齢化がさらに進行。本町として医療と介護の両方を必要とする高齢者が増え続けている中、行政、地域の医療・介護の取り組みについて意見交換を行った。

- 在宅医療・介護連携の課題対応策の検討
- 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- 地域住民への普及啓発
- 子育て世代包括支援センター設置への取り組み



医療・介護の連携を真剣に

議会としても今進めている、地域包括ケアシステムについて、町民に理解を求め、周知していきたい。

◆障害者福祉ネットワーク

平成30年11月29日(木) 13:30～15:30 本庁3階大会議室

関係各機関より現状の報告、意見交換を行った。

町内の関係機関とのネットワークの構築や情報共有を推進する目的で、美咲町福祉ネットワークが設置され、本町ではこの組織が自立支援協議会の役割をしている。

「アイサポート」で地域の人との交流を。

当事者の声を、時間を置くことなくネットワークに上げていく。

支援サービスがあることを知らない人がたくさんいる。

困りごとの支援ができ、安心して育てられ、暮らしやすい町づくりを。

「黄福タクシー片道100円」は良いが、イベントなどの会場で施設整備が十分でない所がある。

福祉制度が変わっていくので議会で取り上げてほしい。

議会として障がいのある人も障がいのない人も社会の一員として暮らせる共生社会の実現を目指したい。

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

勝英衛生施設組合

(美作市、西粟倉村、勝央、奈義、美咲町)
10月22日、定例会を開催し、29年度一般会計決算の認定、30年度一般会計補正予算1、298万円の2議案を審議し、全会一致で承認可決した。

柵原・吉井特別養護老人ホーム組合

(赤磐市、美咲町)
10月23日、定例会を開催し、29年度組合会計歳入歳出決算の認定、平成30年度組合会計補正予算(第1号)1,829万円の2議案を審議し、全会一致で承認可決した。

柵原・吉井・英田火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
10月23日、定例会を開催し、29年度組合会

計決算の認定、30年度組合会計補正予算(第1号)45万円の2議案を審議し、全会一致で承認可決した。

津山圏域衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)
10月25日定例会を開催し、29年度組合会計歳入歳出決算の認定、平成30年度組合会計補正予算(第1次)2,141万円の2議案を審

議し、全会一致で承認可決した。

久米老人ホーム組合(静香園)

(津山市、久米南、美咲町)
10月29日、定例会を開催し、29年度組合一般会計決算の認定、30年度組合一般会計補正予算(第1号)128万円など4議案を審議し、全会一致で承認可決した。

津山圏域資源循環施設組合

(津山市、鏡野、勝央、奈義、美咲町)
11月6日定例会を開催し、29年度組合会計歳入歳出決算の認定、30年度組合会計補正予算(第1次)1億2,746万円の2議案と報告1件を審議し、全会一致で承認可決した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、勝央、奈義、久米南、美咲町)
11月8日定例会を開催し、29年度組合会計歳入歳出決算の認定、30年度組合会計補正予算(第1次)5,853万円の2議案を審議し、全会一致で承認可決した。

津山地区農業共済事務組合

(津山市、鏡野、久米南、美咲町)

11月8日定例会を開催し、29年度決算の認定など4議案、報告1件を審議し、いずれも全会一致で承認可決した。

なお、平成31年4月1日より農業共済事務組合は、県内全域を対象とした新組合を設立する。

津山広域事務組合

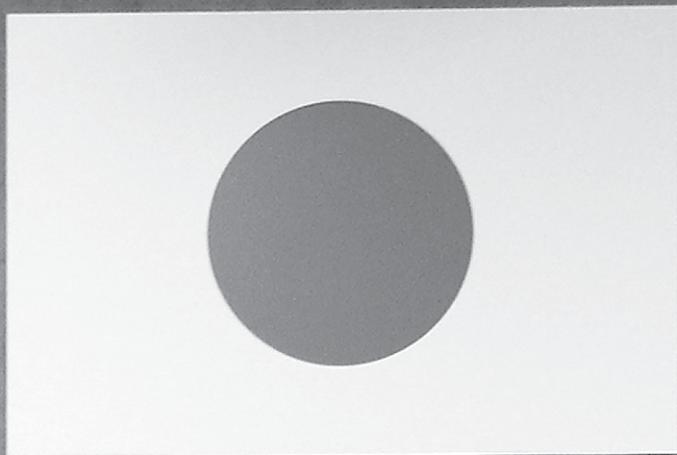
(津山市、鏡野、勝央、奈義、久米南、美咲町)
11月8日定例会を開催し、29年度一般会計決算の認定など2議案を審議し、異議なく承認可決した。

岡山県中部環境施設組合

(真庭市、美咲町)
11月28日臨時会を開催し、監査委員の同意を求める議案1件が提案され、美咲町副町長の池上康夫氏を全会一致で承認した。



新たにつくられた汚泥再生処理センター (津山市川崎)



町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
12	松島 啓	1. 町の最重要課題とその解決策は 2. 町政懇談会を開催し対話のまちづくりを
13	延原 正憲	1. 空き家老朽危険家屋の一掃を 2. 鳥獣被害防止対策の一層の推進を
14	松島 幸一	1. 防災訓練の反省点は
	松田 英二	1. 火葬場使用料を見直す考えはないか

ページ	議員名	質問内容
15	藤井 智江	1. 義務教育学校はこのまま進めるのか 2. 福祉の推進に専門職の採用が必要だ ◇ 国民健康保険について
16	形井 圓	1. どう進める重要施策 2. もっと農産物のPRを ◇ 第7期介護保険料について
17	山田 雄二	1. まず小・中一貫教育から始めよ 2. 苫田ダム放流情報を一刻も早く地域へ
18	金谷 高子	1. マイ・タイムラインの取り組みは 2. どう取り組む「ギネス世界記録への挑戦」 ◇ 行政の災害・防災対策について

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
掲載できなかった質問は◇で
表示しています。

質問 町の最重要課題とその解決策は

答弁 若者に選ばれる住宅整備を行いたい



松島 啓 議員



美咲の未来を語る

問 師走の慌ただし
い中で、急ぎよ町
長に就任され、その心
境は如何ばかりかと察
する。

その中で、来年度の
予算編成に当たっての
方針を問う。
①財源確保を含めた歳
入・歳出に関する考え
方は。

②町の最重要課題を何
と捉えているか。また、
その課題解決に来年度
優先的に予算化する事
業は。

答 青野町長
①交付税などが段
階的に縮減されている。
町税の確な徴収や適
正規模の町債（借金）
発行で、安定的な財源

確保に努める。

②町の最重要課題は少
子・高齢化、人口減少
であると認識している。
その課題解決のため、
旧村単位で協働のまち
づくりを強化、若い世
代から選ばれる住宅整
備、将来を担う若者へ
の投資などを行いたい。

問 多くの要望に対
しては、事前評価
および地元で優先順位
をつけ提出してもらっ
てはどうか。

答 青野町長
要望の対応には、
明確な基準が必要であ
る。緊急度、公共性な
ど加味し決定しなけれ
ばならない。

質問 町政懇談会を開催し対話のまちづくりを

答弁 町内13カ所で行いたい



町民との対話

問 山積する諸課題
の解決、事業執行
において基本になるの
が、町民との対話であ
る。

答 町政懇談会を年一回
行うことを条例化し、
テーマごとにワークシ
ョップの手法で、住民
の意見を町政に反映さ
せることが必要ではな
いか。その進行役であ
る、町民ファシリテー
ターの育成を。

また、まちづくり出
前講座の実績と、来年
度どうするのか。

答 青野町長
町政懇談会は、
13の協働のまちづくり
協議会で行いたい。

条例化は研究したい。
ワークショップは、
まちづくりを進めてい
く上で大変有効な手法
であり、ファシリテー
ターは、まず職員から
養成したい。

答 立石情報交通課長
本年度のまちづ
くり出前講座は、防
災、集会所整備、黄福
タクシー、先進安全自
動車、みさきネット、
高齢者対策などに関し
て、合計35回行った。



延原正憲 議員

質問 空き家老朽危険家屋の一掃を

再調査が終了次第 今後の方針を検討したい

答弁



増え続ける老朽危険家屋

問 平成29年2月に策定した「美咲町空家等対策計画」では、美咲町空家対策協議会で管理不全な空き家を特定空家として認定し、解体撤去するまでの対応を定めている。①対策協議会の開催状況は。

答 ②町内の管理不全な空き家の状況は。③特定空家と29年以降の解体撤去の実績は。④老朽危険家屋一掃の方策は。

光嶋まちづくり課長
①30年度の開催は現在までできていない。

②27年度の空き家リスト約900戸を基に再調査を実施中で30戸余りが管理不全な状況と把握している。

③特定空家の認定実績はないが、26年度からの解体撤去の実績は7件である。

答 青野町長

①直近3年間の鳥獣被害額と有害鳥獣の駆除の実績は。

②被害対策実施隊と駆除班の状況は。

③駆除の実績を上げるための対策は。

答 牧野産業観光課長
①・②は別表のとおり

③としては、
・狩猟免許取得者には経費の二分の一を補助。
・実施隊加入者には免許更新時の狩猟税の免除および年2,000円

質問

鳥獣被害防止対策の一層の推進を

答弁

対策強化を進めたい

問 鳥獣被害は平成28年度以降1,000万円を超えて推移している。

農作物の被害増加は耕作放棄の増加、ひいては集落崩壊につながる。

鳥獣被害は平成28年度以降1,000万円を超えて推移している。

・捕獲補助金の増額については近隣市町村の状況も調査したい。

答 青野町長

非常に重要な問題だと考えている。さらに対策を強化するよう指示してまいります。

①美咲町鳥獣被害額及び有害鳥獣駆除実績表

区分	平成27年	平成28年	平成29年
鳥獣被害額(千円)	5,577	11,539	10,751
有害鳥獣駆除実績 計	1,233	1,321	1,182
イノシシ	960	1,020	900
シカ	193	163	150
ヌートリア	26	44	83
その他	54	94	49

1.被害額は、津山地区農業共済事務組合の集計値
2.駆除実績は毎年1月1日~12月31日の集計値(3月16日~3月31日は除く。)

②美咲町鳥獣被害対策実施隊一覧表 平成30年12月31日現在

区分	中央地域	旭地域	柵原地域	合計
狩猟免許取得者数(実数人)	46	43	65	154
美咲町猟友会員数	41	40	48	129
うち鳥獣被害対策実施隊員数	30	36	36	102
うち有害鳥獣駆除班員数	30	38	39	107

質問 防災訓練の反省点は

答弁 全体への周知が不足していた



松島幸一 議員

問 11月18日(日)に実施された防災訓練の課題や反省点は。

答 桑元総務課長
今回は職員の新集訓練が中心となった。職員の安否確認や参集方法の検討、災害対策本部の設置訓練、県や自治会・自主防災組織との連絡調整手段の確認を行った。

答 池上副町長
今回は事前に訓

課題としては、周知不足により自主防災組織全体への共有ができていなかった。今後は町内全域での訓練ができるよう検討を進めたい。



要配慮者の避難訓練

練予定を知らせており、ほぼ全職員が定刻に集合できたが、道路の寸断や停電、みさきネットや電話が不通の場合にどのような行動ができるのかを訓練を重ねて体で覚え、一つ一つ改善していきたい。

答 山本政策推進監
本庁舎の非常用電源設備が現在3時間しか稼働しないものであり、電気供給が途絶えた場合は防災拠点機能が著しく低下するため増強が必要であるが、経費も要するため今後の重要な論点であると考えている。

質問 火葬場使用料を見直す考えはないか

答弁 見直しと維持管理に努めていく



松田英二 議員

問 本町には公営の火葬施設として町営火葬場と組合立柵原斎場の2施設が設置されているが、合併以降使用料金が異なった状態で今日を迎えており、町営火葬場1万2,343円に比べて柵原斎場2万円の使用料は1・6倍と不公平な形となっている。

答 青野町長
合併後14年が経過する中でそうした不公平な面が残っているとすれば、しっかりと洗い出したいと考えている。

答 青野町長
今後の施設運営を考えれば使用料金の見直しは必要になってくる。

また、町内の施設が使用不能となった時、津山市斎場では5万円、真庭火葬場では7万5千円の使用料が必要となる。この差額をどうするのも含めて使用料を見直す考えはないか。

また、2つの施設が同時に使用できなくならないよう維持管理に努めていく。

火葬場使用料

美咲町	町営火葬場	12,343円
	柵原斎場	20,000円
	差額	7,657円

質問

義務教育学校はこのまま進めるのか

答弁

青野町長の意向を踏まえ検討していく



藤井智江 議員

問

柵原地域の住民の多くは、普通の

校整備検討委員会についても青野町長の意向を踏まえていく。

柵原地域義務教育学校整備検討委員会についても青野町長の意向を踏まえていく。

答

柴原教育長

青野町長に昨年の報告書を始め、これまでの取り組みの経緯と現在の状況について大まかなところは説明している。今後は、当然のことながら青野町長の意向を踏まえながら検討をしていく。

問

定本前町長、柴原教育長で進めてきた柵原地域の義務教育学校創設は、定本前町長は退職したがこのまま進めるのか。



安全な場所に一日も早く中学校の建設を！

柵原地域の住民の多くは、普通の

校整備検討委員会についても青野町長の意向を踏まえていく。

柵原地域の将来に禍根を残さないよう普通の中学校の早急な建設を進めるべきだ。

答

柴原教育長

老朽化の激しい柵原中学校と共同調理場については一日も早い対応を考えなければならぬ。

中学校を一日も早く建設してほしいと願っている。

家庭生活でもどんなに貧しくてもまず子どもたちを最優先に考える。

質問

福祉の推進に

専門職の採用が必要だ

答弁

機構改革に向けて検討を重ねる

問

私たちは住み慣れた地域で最期まで自分らしく、安心して心豊かに暮らしたい。そういう地域をつくりたい。できることは自分たちで頑張ろうと思

問

町が元気になるためには住民であることの実感を持てる

答

青野町長

美咲町の1万4,300人に補欠はいない、皆が選手。大都市部ではできない、美咲町だからできること、人の力と絆の深さを活かした地域再生を考えて町政運営に努める。

住民の意見をもっと聞いて、住民が参画することが町の活性化につながるのではないかと

町政運営に努める。

答

青野町長

先日も聴覚障害者団体から専門職採用の要望を受けた。同様に、町職労も臨床心理士の採用など、さまざまな立場の人が専門職の採用を望んでいるのは痛感している。

4月の機構改革に向



求む！ 専門職

質問 どう進める重要施策

答弁 メリハリのある事業運営を行う



形井 圓 議員



町民に目を向けた行政を望む

問

前町長が体調不良により、多くの重要施策を抱えながら退任した。

昨年の議会で否決となった新庁舎建設などどのような引継ぎがなされ、今後どのように進めるのか。

柵原地域の学校建設。そして下位にある学力について、教育環境の整備を今後どのように変えていくのか。

また、職員の意識改革、人事評価も必要ではないか。

答

青野町長

前町長より事務引き継ぎ書により重要施策の引き継ぎを受けている。財政を取り巻く情勢は大変厳しく事

業内容を吟味し、メリハリのある事業運営を行う。

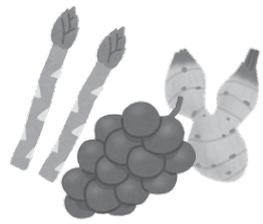
庁舎建設については引継ぎ書にはなかったが、駅周辺の活性化を念頭に入れながら検討していく。

柵原地域の学校建設においては、私なりに研究した上で、早期に取り組んでいきたい。また放課後子ども教室などを利用した学力・教科の底上げを考えている。

職員については、意識改革あるいは庁内改革が必要不可欠だと認識している。人事評価については、取り入れるとの報告を聞いている。

質問 もっと農産物のPRを

答弁 さまざまな手法で情報発信の先頭に立っていく



問

町長は県議時代、中山間地域に対して大変力強い発言をされていた。本町の農業振興にどのように取り組むのか。

各自自治体では色々な補助金制度をつくっている。農業は本町の基幹産業である。若い人たちも頑張っており、

国・県の補助金のみならず、町として支援策を考えるべきではないか。

併せて本町の特産物についてホームページなどでPRが必要ではないか。

答

青野町長

町が推進してい



シヨウガ栽培研修に取り組む若者たち

る農産物として、ピーネ、黄ニラ、アスパラ、シヨウガなどがあり、多くの農家の人に貢献していただいている。町を代表する農作物についてはどのような支援が効果的か、農業団体、グループ農家の人たちの話を聞いていく。

本町の再生、地方創生については農業、林業なしにはないとも思っている。新年度から、本町のブランド力の強化に向け、ホームページ、SNSなどさまざまな手法で情報発信の先頭に立っていく。

質問 ます小・中一貫教育から始めよ

答弁 じっくり研究し結論を出す



山田雄二 議員



安心してまかせられる教育を

問 ①義務教育学校設立にむけて行政のバックアップを強調しているが、具体的に示せ。

②小・中両方の免許を持つ教員の配置をどう行うのか。半数の教員が両方保有するのはいつ頃の予定か。

③まず小・中一貫教育を実施し、その後に義務教育学校も含めた検討に入るのが最も受け入れやすいと考えるが、見解を示せ。

答 柴原教育長
①県教委には指導力のある教員と加配教員の要請が必要である。

問 ②小学校の半数の教員は免許を両方保有しているが、中学校では1割しかない。両方保有を何年後と言いつけることは難しい。

③初めから施設一体型の義務教育学校の設立を目指している。

答 青野町長
小・中一貫校と義務教育学校の2つをじっくり研究し結論を出したい。

問 平成30年11月18日に震度5強の地震発生を想定した防災訓練が実施された。訓練の成果と課題は何か。マニュアル作成が必要ではないか。

また、苦田ダム放流情報を地域に一刻も早く伝える必要があるのか。どう具体化するのか。

答 青野町長
今後も町内の自主防災組織における訓練とさらには行政、消防、警察が連携しての訓練などを充実させる必要がある。

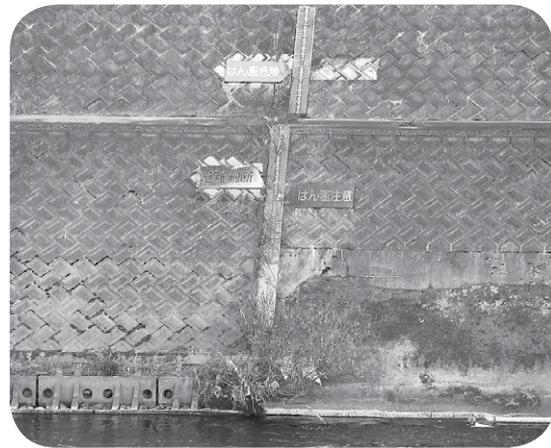
答 桑元総務課長
今回は準備不足などから地域には十分にお知らせすることができなかったが、年一

質問 苦田ダム放流情報を一刻も早く地域へ

答弁 一刻も早く知らせる必要がある

回は訓練を続けていくことが必要と考えている。マニュアルについては一刻も早く地域にお知らせする必要がある。

答 木谷柵原総合支所長
放流情報については災害対応時のマニュアル作成の中で検討する必要がある。



早く知りたい放流情報 (羽仁地内の水位標)

質問 マイ・タイムラインの取り組みは

答弁 家族同士で話すところから始まる



金谷高子 議員

問 平成27年9月、記録的な豪雨により鬼怒川の堤防が決壊した。

国土交通省は意識を変革し、社会全体で洪水に備える必要があると表明し「逃げ遅れゼロ」を打ち出している。

自分自身が取る防災行動を時系列的に取りまとめた行動計画が「マイ・タイムライン」である。

答 桑元総務課長 全国で取り組みが進められているが、本町の取り組みは、



子どもたちに防災教育を(上口自治会)

に整理して、あらかじめ掌握しておくことは非常に大切なことだ。災害時には最初に命を守る行動。次に家族の安全確保。そして近所の人の安全を確保しながら避難行動を取らなければならない。

台風など大雨の災害の対応について、十分時間があるときに自身の行動をどうすべきか考え、家族同士で話すところから「マイ・タイムライン」ができるのではないかと。また、こういった意識がもつと普及していくべきである。

また、こういった意識がもつと普及していくべきである。

質問 どう取り組む「ギネス世界記録への挑戦」

答弁 3月開催へ向け力いっぱい努力する



ギネスに挑戦 頑張ります!

問 昨年11月23日、ギネス世界記録への挑戦が、参加者が目標数集まらなかつたため、延期するという連絡があつた。なぜこのようなことになつたのか。

これまでの経緯と延期になつた状況、要した経費、応募人数、今後の取り組みは。

答 青野町長 11月23日に開催を予定していたギネス世界記録への挑戦が開催直前に延期となつたことについて、町民には大変申し訳なく思っている。職員の努力不

足があつたことに間違いない。お詫び申し上げます。

答 牧野産業観光課長 私どもが思っていた以上に参加者の申し込みが少なかつた。小・中学校や、企業にも声をかけたが難しかった。

ギネス挑戦の1週間前に人数が足りなかつたので延期した。費用は150万円、申込み者は185人(283人以上で世界記録更新)。今年3月開催へ向け、力いっぱい努力する。

岡山県町村議会議員研修会

～政治の課題と地方の視点～



津山鶴山ホテル

11月16日、県北で昨年に続き2回目となる、岡山県町村議会議員研修会が津山市で開催されました。

「政治の課題と地方の視点」と題して、元総務大臣、早稲田大学公共経営大学院教授の片山善博氏より、自らの体験をもととして、財政の健全化、公共施設の老朽化、行政改革、地方創生などについての講演がありました。

平成30年度全国町村議会広報研修会

～全国より205の町村議会参加～

議会広報編集特別委員会は、10月9日から10日に東京都千代田区「砂防会館」で行われた、全国町村議会議長会・主催の「平成30年度町村議会広報研修会」に参加しました。

研修は、全国から205の町村議会が参加し、3人の講師より「読み手に伝わる文章の書き方」、「デザインの手でもっと伝わる議会広報誌」、「広報コンクール優秀作品に見る光彩を放つ編集力」、それぞれのテーマで講演が行われました。

各講師の講演、そして、全国からの参加者の旺盛な意欲を感じたことは、議会だよりの作成は勿論のこと、議会活動においても刺激になるものであった。



シェンバツハ・サポー(千代田区)

表紙の紹介

～美咲町成人式～

新元号となる今年、美咲町では136人の新成人が誕生しました。皆さんの未来に期待し、応援しています。



議会広報視察研修来訪

～議会だよりの発刊を目指し来町～

11月30日、鏡野町議会議会運営委員会から8人が議会広報視察研修に来町し、熱心に意見交換を行いました。

鏡野町議会では、来年度より議会だよりの発刊を目指しております。



本町議場

町民の皆さんこんにちは

サークル紹介
第31回

しあわせを祈って



百々人形保存会

●いつ頃から活動していますか●

もともとは地域の先輩方が昭和8年頃から活動していましたが一時中断。その後、平成21年から活動を復活しました。

●どんな活動をしていますか●

いろいろな種類の百々人形を作っています。毎月第1・3火曜日の午後1時から3時まで北和気郷土資料館で活動しています。興味のある人はどうぞおいでください、大歓迎です。

●メンバー構成は●

60代から80代の男女9人で活動しています。

●活動を始めたきっかけは●

お姫様や桃太郎、だるまさんなどいろいろな百々人形を保存したいと思ったからです。

●楽しいことは何ですか●

人形作りも楽しいですし、野菜の作り方や病気のことなど身近な世間話ができるのも楽しいです。

●これからの活動は●

天満屋で展示会のお話があります。宇野からも来てほしいとの誘いをいただいています。

●議会に一言お願いします●

住民の声に十分耳を傾けてほしいです。

生まれた赤ちゃんへの百々人形プレゼントありがとうございます。

これからも元気に活動してください。

編集
後記

新年あけましておめでとう
いびぎます。

12月議会は「青野町長、就任おめでとうございませす」で始まり、青野町長の力強い所信表明に対し、議員からも多くの質問があり、活発な論戦が繰り広げられました。

「小規模多機能自治組織」で地域づくりを目指し、少子化、人口減少を最重要課題として、住宅整備、教育の充実を図り、人の力、絆の深さを活かしたまちづくりに取り組む決意が示されました。

私たちが広報委員も、決意を新たに「読みたくなる美咲町議会だより」を目指します。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(藤井記)

議会広報編集特別委員会
委員長 左居 喜次
副委員長 藤井 智江
松田 幸一
山田 雄二
松島 幸一
金谷 高子